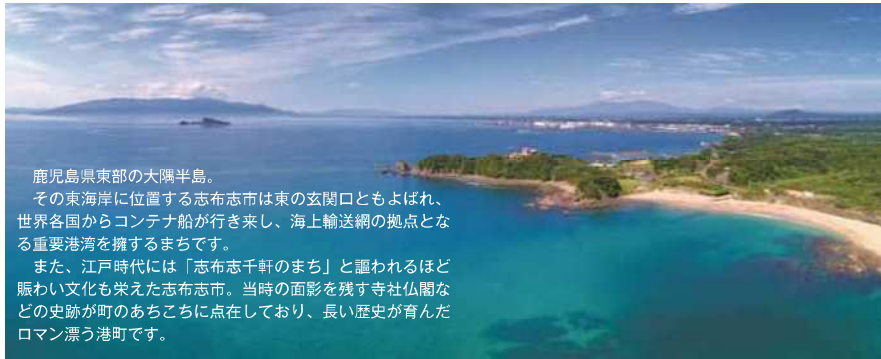


志布志の魅力~Charm of Shibushi~



鹿児島県東部の大隅半島。その東海岸に位置する志布志市は東の玄関口ともよばれ、世界各国からコンテナ船が行き来し、海上輸送網の拠点となる重要港湾を擁するまちです。また、江戸時代には「志布志千軒のまち」と謳われるほど賑わい文化も栄えた志布志市。当時の面影を残す寺社仏閣などの史跡が町のあちこちに点在しており、長い歴史が育んだロマン漂う港町です。

SHIBUSHI CITY

志布志の特産品 <<<

温暖な気候に恵まれた志布志には四季折々の豊かな海の幸、山の幸がいっぱい！志布志産のしらすは背中が白いことが特徴で、「背白（せじろ）ちりめん」と呼ばれており、しらすの中でも高級品とされています。また、霧島山系由来のミネラル豊富な地下水の湧出地としても知られる志布志市では、うなぎの養殖も盛んです。恵まれた環境の中、丹精こめて育てられたうなぎの味わいはひと味違います。志布志市は全国2位のお茶産地である鹿児島県のなかで2番目の茶面積、荒茶生産量を誇り、全国でも有数のお茶の産地です。



>>> 志布志みなとまつり

毎年7月に開催される志布志みなとまつりは志布志の夏のメインイベントです。志布志港を鮮やかに彩る一万発の花火やステージイベントのほか、さんふらわあクルージングなど志布志ならではの華やかなイベントが盛りだくさん！

志布志お釈迦まつり <<<

江戸時代から続く伝統行事。宝満寺の境内に安置された仏像に数え年と同じ数だけ甘茶をかけて、一年の無病息災を祈願します。この日はカッパルを乗せたシャンシャン馬パレードや稚児行列、踊り連も練り歩き、大勢の見物客でまちは賑やかな活気にあふれます。



>>> クルーズ寄港

志布志市では、地理的な特性を活かし、人流・交流・賑わいの創出を図るためにクルーズ船の受入に取り組んでいます。2022年には「につぼん丸」が入港し、地域住民による歓迎セレモニーや特産品の販売も行われ、会場はたくさんの笑顔に包まれました。

志布志港~Port of Shibushi~

地理条件

九州南東部の太平洋に面した地理的優位性と国内有数の農畜産地域である南九州地域を背後に有しています。周辺地域では、東九州自動車道や都城志布志道路などの交通ネットワークの整備が着実に進展し、志布志港の利便性が向上しています。

港湾の概要

北から本港地区、外港地区、若浜地区、新若浜地区の4地区から構成される南北約6kmにおよぶ重要港湾です。本港地区は、主に漁船などの小型船だまりとして利用。外港地区は、東京や阪神、沖縄などを結ぶ内航RORO船、原木輸出に利用。若浜地区は、飼料供給基地として配合飼料工場が集積し、飼料穀物の輸入や飼料の生産・供給が行われている。また大阪南港とを結ぶフェリーさんふらわあも利用。新若浜地区は、中国、台湾、韓国などを結ぶ定期コンテナ航路が就航しています。

港湾の特徴

南九州地域における国内外の物流拠点、飼料供給基地として背後地域の産業を支えています。コンテナ貨物の取扱量は九州では博多港、北九州港に次ぐ第3位であり、近年は10万TEU前後で推移しています。木材輸出は14年連続日本一に輝いています。また2011(H23)年に九州で唯一の国際バルク戦略港湾に選定され、2017(H29)年から船舶の大型化に対応する新たな岸壁等の整備を進めています。

With the geographical advantage facing the Pacific Ocean in the southeastern part of Kyushu, Shibushi Port is one of Japan's leading agricultural and livestock regions. At the same time, the accessibility to the port is growing firmly with the firm growth of the local transportation network.

From the north to south ranging up to 6 km, there are four districts constituting the Shibushi Port: Honkou District, Gaikou District, Wakahama District, and Shin-Wakahama District. The Honkou District is designated for fishing boats and small boats. The Gaikou District is designated for RORO vessels transporting logs to major ports in Tokyo, Hanshin, Okinawa area. The Wakahama District is designated as a major supply base located near multiple compound feed factories, specified for mass production. At the same time, the port is also used by "Sunflower Satsuma" and "Sunflower Krishima" ferrying service for traveling. The Shin-Wakahama District is designated for international container ships from China, Taiwan, South Korea, and other international vessels as well.

As one of the major logistic position in the southern Kyushu area, the port has been supporting the local region's industry with the feed supplying base. Shibushi Port ranked third in Kyushu after Hakata Port and Kitakyushu Port for the container cargo handling volume, and is recording 100,000 TEU in recent years. Timber export has been number one in Japan for 14 consecutive years. In 2011(H23) Shibushi Port was selected for the international bulk strategic port and has been reinforcing the facilities, quays, wharfs to accommodate larger boats.

History

1933(S58)	重要港湾の指定
1976(S51)	外港地区第一突堤供用開始
1980(S55)	外港地区第二突堤供用開始
1987(S62)	若浜地区供用開始
4月	開港指定
4月	植物検疫港の指定
1988(S63)	1月 無線検疫港の指定
4月	出入国港の指定
1989年(H元)	0月 検疫港の指定
1995年(H7)	4月 中国コンテナ定期航路開設
1997年(H9)	4月 動物検疫港の指定
7月	指定保稅地域の指定
1999年(H11)	11月 台湾コンテナ定期航路開設
11月	国際フェイダーコンテナ定期航路開設
2003年(H15)	6月 韓国コンテナ定期航路開設
2004年(H16)	3月 若浜地区旅客ふ頭完成
2009年(H21)	3月 新若浜地区国際コンテナターミナル供用開始
2011年(H23)	5月 国際バルク戦略港湾(穀物)選定
2018年(H30)	12月 コンテナ取扱量10万TEU突破
2022年(R4)	1月 新若浜地区国際コンテナターミナル岸壁延伸
2023年(R5)	5月 農林水産物・食品輸出促進計画の認定



志布志港の取組～Effort～

国際バルク戦略港湾

「和牛日本一」に輝いた鹿児島黒牛などを生産する国内有数の畜産地帯を背後に有する志布志港では、世界各国から飼料原料が輸入され、周辺の立地企業から九州各地に配合飼料等が搬出されています。

九州で唯一、国際バルク戦略港湾(穀物)に選定されており、穀物バルク船の大型化に対応した施設整備を行うことで、効率的な輸入機能強化が図られ、南九州地域の畜産業の競争力強化に繋がることが期待されています。

また、施設整備にあたっては、大規模災害時におけるサプライチェーン確保、物流機能強化を図るため、耐震対策も進めています。

International bulk strategic port of Shibushi is located in Kagoshima, the leading livestock area awarded as #1 Wagyu-Beef of Japan, is actively importing feed materials around the world, and distributing the imported materials to the local businesses in Kyushu-area for the compound feed materials.

Being the sole international bulk strategic port in Kyushu, designated and specialized for the bulk grain ship accommodation, Shibushi Port is established to support the livestock industry in the southern Kyushu area.

産直港湾

志布志港では、背後地域が農林水産物の一大生産地となっているポテンシャルを活かし、新若浜地区国際コンテナターミナルを活用した農林水産物・食品の輸出促進に取り組んでいます。

ターミナル内の公共上屋に温度・衛生管理が可能な荷捌き施設(冷凍・冷蔵倉庫/ドックシェルター等)を新たに整備し、全国で3港目の産直港湾として、大ロット輸出産地の形成に向けた輸出環境の強化を図ります。

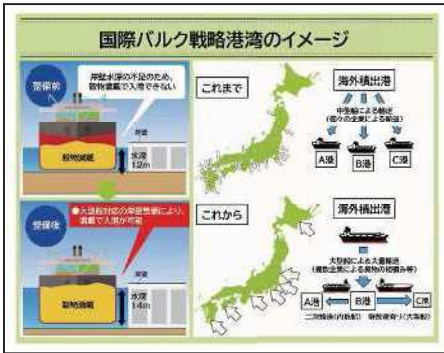
By the installation of the temperature and the sanitation control in the cargo handling facility(freezer, refrigerator, dock shelter, etc), Shibushi Port has become the third port in Japan which is directly connected to the large-scale product production region.

交通ネットワーク

東九州自動車道や都城志布志道路など広域道路ネットワークの整備により、志布志港へのアクセス性が向上しています。

志布志港を活用し、モーダルシフトをより一層進めることでカーボンニュートラルの実現やトラック運転手の労働時間規制への対応が期待されます。

Access to Shibushi Port has improved with the development of wide-area traffic networks such as the Higashikyushu Expressway and Miyakonogo Shibushi Road. By utilizing Shibushi Port and further promoting modal shift, it is expected that carbon neutrality can be achieved, and complying with truck drivers' working hours regulation.



Potential



鹿児島県産農林水産物の輸出額 367億円(R\$) 過去最高額

- 農業産出額 全国2位 (5,114億円(R\$))
- 木材生産額 全国9位 (1,387千円(R\$))
- 漁業産出額 全国5位 (770億円(R\$))

- 生産量: お茶(抹茶) 全国2位, 養殖ブリ・カンパチ 全国1位, ウナギ 全国1位, ミナミマグロ 全国2位, かつお節 全国1位
- 飼養頭羽数: 肉用牛(和牛) 全国1位, 豚 全国1位, 採卵鶏 全国9位, プロイラー 全国1位
- 収穫量: さつまいも/さやえんどう/そらめめ オクラ/夏みかんなど いずれも全国1位

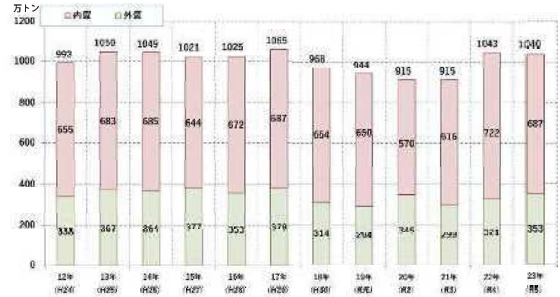
主要都市への所要時間

- 鹿児島市: 整備前 約160分, 整備後 約100分 (東九州自動車道全線供用時 60分短縮)
- 都城IC: 整備前 約70分, 整備後 約40分 (都城志布志道路全線供用時 30分短縮)



志布志港データボックス～Data Box～

港湾取扱貨物量 Volume of Total Cargo Handled at Shibushi Port



志布志港では畜産飼料が輸入され、輸出では原木、その他畜産品などの貨物が取り扱われています。移出入においては主にフェリーなどを利用した貨物が取り扱われています。

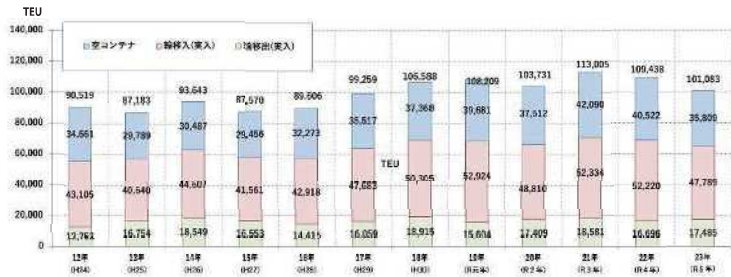
Shibushi Port handles livestock feed materials for import, logs and other livestock products for export. The exporting and importing is mainly conducted via cargo ferries.

2023年 取扱貨物量(フレート・トン)

ランク	輸出: 434,268(フレート・トン)	輸入: 3,100,163(フレート・トン)	移出: 3,957,286(フレート・トン)	移入: 2,914,817(フレート・トン)
1	原木 (81%) 352,682	とうもろこし (58%) 1,801,858	フェリー (70%) 2,776,605	フェリー (71%) 2,054,980
2	その他畜産品 (4%) 16,919	動植物性製造飼料 (18%) 562,725	とうもろこし (12%) 476,720	動植物性製造飼料 (10%) 279,973
3	動植物性製造飼料 (2%) 10,400	その他農産品 (6%) 182,739	石材 (9%) 336,420	セメント (5%) 132,915
4	ゴム製品 (2%) 10,001	その他雑穀 (3%) 104,654	動植物性製造飼料 (3%) 110,010	砂利・砂 (3%) 98,175
5	その他日用品 (2%) 7,032	麦 (3%) 101,048	その他雑穀 (1%) 53,866	その他雑穀 (3%) 80,435
6	自動車部品 (1%) 32,227	化学薬品 (2%) 65,120	水 (1%) 27,866	鋼材 (2%) 50,333
その他	その他 (7%) 32,227	その他 (9%) 187,799	その他 (5%) 187,799	その他 (7%) 218,106

※港湾統計速報値

コンテナ取扱量 Volume of Foreign Container Handled at Shibushi Port



2023年 コンテナ取扱貨物量(TEU)

ランク	輸出: 31,068(TEU)	輸入: 36,006(TEU)	移出: 17,912(TEU)	移入: 16,097(TEU)
1	その他日用品 2,026 (7%)	その他農産品 14,214 (40%)	ゴム製品 3,587 (20%)	動植物性製造飼料 6,051 (38%)
2	ゴム製品 1,088 (4%)	動植物性製造飼料 5,806 (16%)	動植物性製造飼料 2,982 (16%)	その他農産品 4,008 (25%)
3	原木 846 (3%)	化学薬品 2,702 (8%)	再利用資材 483 (3%)	樹脂類 1,754 (11%)
4	その他畜産品 582 (2%)	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 1,484 (4%)	原木 472 (3%)	化学薬品 342 (2%)
5	動植物性製造飼料 407 (1%)	薬品 1,453 (4%)	原木 341 (2%)	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 226 (1%)
6	再利用資材 370 (1%)	野菜・果物 1,041 (3%)	輸送用機械 303 (2%)	その他日用品 141 (1%)
その他	その他 25,749 (83%)	その他 9,306 (26%)	その他 9,842 (55%)	その他 3,575 (22%)

※港湾統計速報値